勝山ひでお 県政レポート

長野県議会議員

VOL.6
2026 春号

現場第一！ひたむきに走る

英語教育の強化

オンラインマンツーマン英会話導入を提案！

11月定例会 一般質問

一般質問の動画はQRコードよりご覧になれます。質問・答弁の趣旨は以下の通り。

【勝山】公立中学校・高校でモデル校を指定し試験的にオンラインマンツーマン英会話を導入すべきでは？

【教育長】県では、観光地での英語ガイド活動や、地域の外国人を活用した授業など、実践的な取組が進められている。今後は更なる環境の充実のため、オンライン英会話の活用も含め研究していく。

【勝山】若者から選ばれる長野県を実現するためには、英語コミュニケーション力の向上も含めた質の高い教育の実現が欠かせないと考えるが如何か？

【知事】英語による実践的なコミュニケーション力は、今後の長野県教育の重要な基盤。英語能力指数において日本は過去最低の順位となっており、教育の見直しが求められている。私自身も「使える英語力」の不足を実感しており、教育の在り方の転換が必要だと感じている。県として先進的な取組を進め他地域との差別化も可能。教育委員会とも協力しながら取り組む。

長野県の英語教育の現状と課題

【現状】
長野県の高校生の英語力は英検準２級相当以上の割合が全国平均を下回っており、伸び悩みが見られる。

【課題】
スピーキングなど「使う英語力」の育成が不十分で英語を苦手・嫌いと感じる生徒も一定数いる。言語活動や英語の発話量をいかに増やすかが重要な課題。

オンラインマンツーマン英会話とは？

外国人講師と１対１で学ぶことで発話量を確保でき、自宅でも受講可能な低コストの学習手法。ALTに比べ個別対応がしやすく学校規模に左右されない英語環境の確保、不登校生徒への対応にも有効。生徒の自信向上や英検対策への効果が報告されており、スピーキング能力の向上にも成果が出ている。

不登校の子どもの学びを守る

【勝山】千葉県では不登校児童生徒の学びの保障について、「５教科＋αのオンライン授業配信」や「オンデマンド学習」を行い大きな効果を上げている。長野県としてICTを活用した新たな学習機会の提供をどのように強化していくのか伺う。

【教育長】不登校児童生徒の学びを保障するため、ICTを活用しながらも、教職員と児童生徒による双方向のコミュニケーションを重視した学習、加配教員を活用した放課後の学習活動、仮想空間を利用した学びなど、一人一人に応じた多様な選択肢を提供していくことが重要であると考えている。

2月定例会 一般質問より

質問・答弁の趣旨は以下の通り。

交通系ICカードの推進

【勝山】若者から交通系ICカードの普及の要望が多い。今後どのようなシステムをどの範囲に普及させる予定か伺う。

【交通政策局長】路線バスは令和10年までに40%の路線で導入を目指す。鉄道においては、令和9年春には、長野電鉄長野線やアルピコ交通上高地線で交通系ICカードが導入される予定。

中学生のクラブチーム活動へ移行に伴う足の確保

【勝山】中学校の部活動のクラブチームへの移行が進められているが移動の足の確保が懸念。足の確保をどのように行うのか伺う。

【教育長】来年度、公共ライドシェア、ボランティア輸送を活用したモデル事業を実施。具体的にはワンボックスカーの貸与、ドライバーの謝金やガソリン代の経費を負担する。

一般質問の動画はQRコードよりご覧になれます。

公明党長野県議団 長野市・上水内郡第２支部　〒381-0005長野市北堀735-2　E-mail：katsuyamahideo@gmail.com